

# 横浜合材工場で無料Wi-Fiサービス

NIPPOは19日、横浜合材工場（横浜市磯子区）の敷地内で無料の通信サービスの提供を開始する。工場に来たダンプトラックの運転手を対象に無料Wi-Fiの環境を提供。待機時間に接続してもらえば、独自の掲示板に必ずアクセスする仕組み。営業時間や販売品目など工場の基本情報を配信するほか、天気予報や交通情報などドライバーに有益な情報も発信する予定だ。独自サービスの提供を通じて、顧客満足のさらなる向上を目指す。

## NIPPO

合材工場ではさまざまな種類の合材を製造するため、繁忙期や時間帯によってはダンプトラックの待機時間が1時間ほどになるケースもあるという。待機中、約9割の運転手がスマートフォンなどでインターネットにアクセスして順番待ちしていただくことから、同社は横浜合材工場での情報サービスの提供を試行する。

導入したWi-Fiシステムは、簡単な初期登録を行えば、2回目以降は自動的にWi-Fiサービスに接続可能。通信事業者や端末・機器を問わずアクセスできる。

トップ画面となる掲示板「NIPPOかわらばん」では当面、製造・販売する合材の品目や、受け入れできない廃材の種類、工場の営業日・時間、商品のPR・告知などの情報を発信。さらに天気



NIPPOかわらばんの画面

## ダンプ待機時間に情報発信

予報やニュース、交通情報などドライバー向けの情報も発信していく予定だ。

Wi-Fiシステムの管理などをファイバーゲート（東京都港区、猪又将哲社長）、コンテンツの編集などを企画編集社（東京都港区、東邦治社長）がそれぞれ担当している。

NIPPOは今後、横浜合材工場での活用状況などを分析し、全国の工場への展開を検討していく。災害時や緊急時に情報提供する仕組みなども模索していく考えだ。

### 横浜合材工場内で Wi-Fiサービス

NIPPO

NIPPOは、19日から横浜合材工場（横浜市磯子区）の敷地内で、アスファルト合材の引き取りや廃材処分のため、合材工場を訪れるダン

トラック運転手向けの無料Wi-Fiサービスの提供を始めた。当面は同工場の営業時間、対応商品案内やPR・告知情報のほか、天気予報、ニュース、交通情報などの有益な情報を発信し、顧客満足度の向上を目指す。同工場での活用状況を



踏まえ、全国の工場への拡大展開も検討していく。

武石英人工場長は「NIPPOのオンラインワンサービスとして物理的なものだけでなく、情報という付加価値を加えることにした」と無料Wi-Fiサービスの提供の目的を説明する。

待機時間は長い場合で1時間に及ぶこともあり、運転手が自身のスマートフォンなどでインターネットにアクセスして順番待ちしているケースが多いことに着眼した。

接続すると初期画面で「NIPPOかわらばん」が表示され、初期登録後にそのま

な情報へアクセスできる。Wi-Fi導入に当たっては、多数のホテルやマンション、東京・浅草の仲見世商店街などで提供実績がある、ファイバーゲート（東京都港区）のシステムを活用している。